



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆少林寺拳法部、そのトレーニングの場所は？◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、私は学生時代に京都に住んでいました。そして、少林寺拳法のクラブに所属していたことは、以前、書かせていただきましたが、そのクラブのトレーニングをする場所というのが京都ならではでした。

大学は、京都の金閣寺のすぐ近くのところで、他にも龍安寺や妙心寺、仁和寺等、有名なお寺に囲まれた場所にありました。

そして、大学にも道場はあったのですが、外で行うランニングやうさぎ跳び等は、そういったお寺他、名所旧跡で行われていました。

お寺によって、門をくぐって本堂に行くまでの間にある置き石の配置が違いましたので、ここのお寺はうさぎ跳び用だとか、ここのお寺はおんぶして2人ひと組でダッシュする用だとか、ここのお寺は逆立ちしていく用だとか、いろいろありました。また、ランニングをする場所も、広沢池コースとか、嵐山コースとか、大文字山縦断コースとかいろいろありました。

ちなみに、広沢池というのは時代劇でよく使われる池で、劇中の別れのシーンで舟が出て行くような場面は、あれは全部広沢池で撮影されていて、そこをランニングしていると「しずかにしろ！」と、よく怒られた記憶もあります(汗)。

そんな名所旧跡でトレーニングができるなんていいなあと思われそうですが、やっている方はとても大変で、ちょうどいまの季節は観光客が多く、頭をつるっパゲにし

た男連中が40人くらいで走ったり、腕立て伏せをしたり、うさぎ跳びをしたりしているものですから、まるで汚いものでも見るかのような目つきで見られておりました・・・(汗)。

ただ、観光客の中には外人もけっこういまして、(2枚目へ→)



(続き→) そういう練習風景が珍しいのか、日本の文化と思われたのかよくわかりませんが、写真を撮られたりしまして、私たちは見てくれは強面でしたが、カメラを向けられるとがんばってしまったり、ピースをしてしまったり、少年のような内面を持っておりました(笑)。

それと、このトレーニングは(足の裏を硬くするために)“裸足”で行われていました。そのため、気をつけないといけないのがガラスのビンの破片です。場所によってはお花見でも使われていましたので、オロナミンCやワンカップのビンの破片が落ちています。だいたい4年生になるまでの間に1回はざっくり切ってしまう傾向にありましたので、そこはだいぶ注意してやっていました。

あれから何年経ったでしょうか、時代は変わり、神社などのセキュリティは厳しくなって、トレーニングでは貸してもらえなくなり、また、いくら足の裏を硬くするためとはいえ、ケガをしてしまっはもともこもないということで、今は皆、運動靴を履いていると聞きます。



テレビで京都の名所旧跡を巡る旅のような番組を見る度に、あのときのことが思い出されます。もちろん、辛かった思い出しかありません…(汗)。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきましてどうも有難うございました！神奈中情報通信第20号はいかがでしたでしょうか？さて、少林寺拳法のクラブでこの時期一番大変だったのが、新しい部員を見つけること。当時、武闘系のクラブが嫌がられていた時期で、本当に大変でした…。なんとか40人見学に来させても、1人入るかどうか…。本当に大変だった思い出しか見当たりません…(汗)。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いたします■

【発行元】

 株式会社
神奈中情報システム

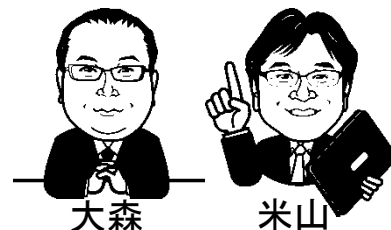
バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番35号

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム



大森

米山